



令和5年10月3日
山形市立南沼原小学校
学校だより 号外
文責：校長 石澤友章



令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

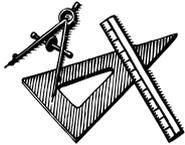
今年度も6年生を対象に、全国学力・学習状況調査が実施されました。この調査は、一人一人の児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、国や県の教育施策の成果と課題を検証し改善を図ることや、各学校が今後の指導や学習状況の改善等に役立てることを目的として実施しています。全国、県、市の結果と合わせて本校の調査結果、成果と課題、今後の取り組みなどについてお知らせいたします。なお、調査結果は「学力」の一部であることや学校における教育活動の一側面であると捉えておりますことを申し添えます。

国語・算数の調査結果について

国語・算数について調査が行われました。結果（平均正答率）は、次のとおりでした。

<全国・県・市の状況>

単位：%



	国語	算数
全 国	67.2	62.5
山形県	67	61
山形市	69	63

<本校の平均と全国・山形県・山形市の平均との比較>

※表記の基準：大きく上（下）回る…3%以上、 上（下）回る…1%以上3%未満、 同程度…±1%未満

【国語】 全国と同程度、山形県を上回り、山形市より下回る
【算数】 全国と同程度、山形県を上回り、山形市より下回る

*調査結果から、各教科について考察しました。(○よさ △課題 ☆授業改善に向けて)

- 【国語】 ○「問題を読み、適切なものを選択しましょう」というタイプの問題は、県や全国の達成率を上回るものが多い。無回答率も低いので、積極的に問題に取り組んでいることもうかがえる。
△「米作りの問題点と解決方法を書こう」「資料から分かったことをもとに自分ができそうなことをまとめて書こう」というような、「自分の考えを決められた文字数でまとめて書く」というタイプの問題に苦手意識がある児童が多い。
☆文章を要約する、文章の要旨をとらえる、決められた条件にしたがって自分の考えを書く、というような活動を授業の中で意図的に取り組むようにしていく。
- 【算数】 ○図形（今回は台形）の意味や性質を理解している児童が多い。また、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見つけたちがいをまとめる、などの問題も県や全国のデータを上回る結果だった。
△文章題での演算決定（どんな式で求めるか）や、「以上」「以下」「未満」などの言葉の意味について、正確に理解できている児童が多くはなく、県や全国のデータを下回っている。
☆文章題を読み、問題場面を理解しながら演算決定する場面を繰り返し行うようにする。加えて、算数的な用語を正確に身に付けることができるように指導にあたる。

調査結果を受けて、本校では学級担任をはじめとした授業を受け持つ全教員で、実際に児童と同じ問題を解いてみました。そのことを通して「今求められている資質・能力」「授業改善のポイント」を分析・検討したところです。上記に挙げたような各教科における成果と課題等を、対象学年である6年生だけでなく、すべての学年で意識して日々の授業改善に取り組むことで、目指すべき資質能力を学校全体で育成していきたいと思っております。

学習状況調査について

*毎日の生活や学習、自分のことや地域のことなどに関する状況についてのアンケート調査です。
 その中から、山形市が特に留意している項目について、本校の結果も入れてお知らせします。
 ご家庭でも、子どもさんと自分はどうか等について、話をしていただければと思います。



【家庭生活に関わること】(当てはまる・やや当てはまる児童の割合：%)

項目		本校	山形市	山形県	全国
平日の家庭学習時間	30分未満	10.6	6.7	7.6	16.0
	2時間以上	19.7	19.5	19.8	25.6
授業以外の1日の読書時間	30分未満	56.1	65.0	63.3	62.6
	30分以上	43.9	35.0	36.7	37.3
家で計画を立てて勉強している		69.7	78.4	79.8	70.7
新聞を週一回以上読んでいる		14.3	15.0	14.6	12.6
朝食を毎日食べている		95.4	95.6	95.3	93.9

- *本校では、家庭学習の時間を30分未満と答えている割合が山形県や山形市の割合を上回っており、家庭学習が習慣化していない児童が多いことが分かる。また、2時間以上の家庭学習時間を確保している児童も県や市のデータと同程度ではあるものの、全国の割合と比較するとやや少ないことが分かる。全国の児童と肩を並べるには、時間の使い方をさらに工夫していく必要がある。
- *授業以外の1日の読書時間は30分以上と答える割合が高いことが分かる。読書する習慣は中学校に向けても大切なことであるため、良い点を認めてどんどん伸ばしていきたい。
- *「計画を立てて勉強する」「新聞を週一回以上読む」「朝食を毎日食べる児童」は、県や市・全国のデータと比較して同程度である。引き続きご家庭でのご協力をお願いいたします。

【自分自身に関わること】(そう思う・どちらかといえばそう思う児童の割合：%)

項目	本校	山形市	山形県	全国
自分には良いところがある	65.1	86.1	84.1	83.5
いじめは、どんな理由があってもいけないことだ	97.7	97.5	97.4	96.9
人の役に立つ人間になりたい	93.2	95.9	96.2	95.9
将来の夢や目標を持っている	72.8	81.1	82.3	81.5
地域の行事に参加している	61.4	63.4	75.6	57.8

- *本校では「自分にはよいところがある」と感じている児童が県や市、全国の割合と比較して低いことが分かる。自分の悩みや思いを話し合い、お互いを認め合える関係づくりを大切にしていきたい。
- *「いじめはどんな理由があってもいけない」という思いをもつ児童は市・県・全国と同程度である。正義を貫こうとする思いを大事にして、今後一層、実際の自分の言動にしっかり反映させていきたい。
- *人の役に立ちたいという思いをもっている児童の割合は9割以上で、市・県・全国と同程度である。更に100%に近づけるように、学校でも自己有用感を育てていきたい。
- *将来の夢や目標は生きるエネルギーとなる。市・県・全国のデータと比べ、夢や目標をもっている児童の割合が低いので、キャリア教育などを通して高めていきたい。
- *地域行事への参加状況は、全国と比べると決して低くはない。しかし市や県と比べるとやや低い値になっている。地域の特性もあるが、市や県で育てたい姿として「郷土を誇りに思う」「地域をつくる」人があるので、その姿に近づくように、どう高めていかご家庭と一緒に考えていきたい。